

〈借入金・貯金の状況〉



▶年度末借入金（地方債）残高

一般会計の残高

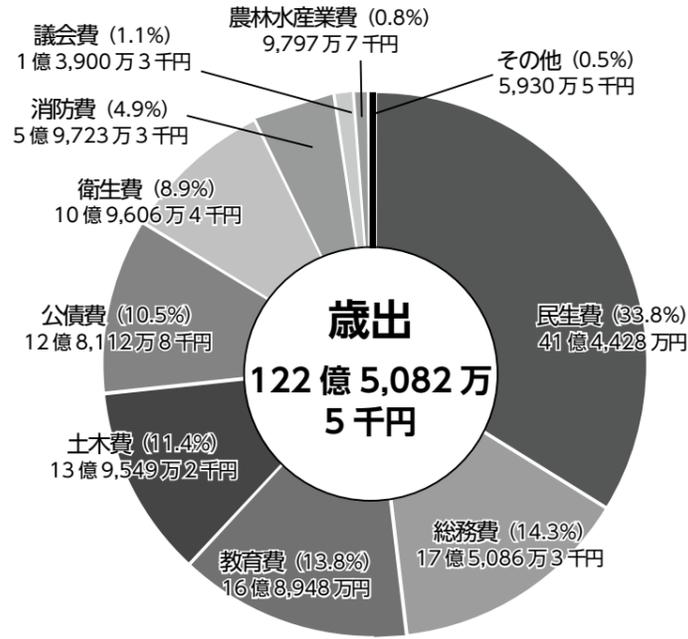
平成 25 年度決算額	約 106 億円
平成 26 年度見込額	約 132 億円
平成 27 年度見込額	約 145 億円

▶年度末貯金（基金）残高

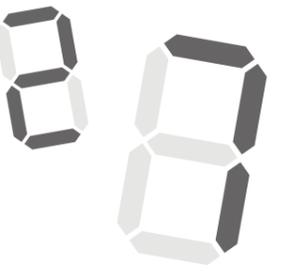
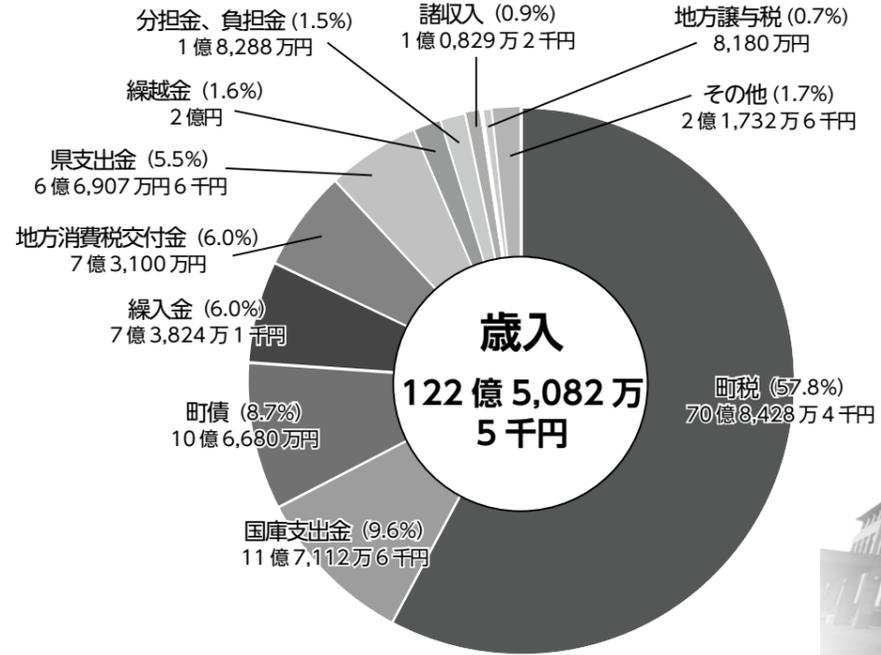
財政調整基金、特定目的基金の合計

平成 25 年度決算額	約 10 億円
平成 26 年度見込額	約 8 億円
平成 27 年度見込額	約 0.5 億円

一般会計の歳出



一般会計の歳入



平成 26 年度 一般会計予算額

149 億 7,748 万 5 千円

平成 27 年度 一般会計予算額

122 億 5,082 万 5 千円

平成 26 年度から
27 億 2,666 万円
の減額（一般会計）

平成 27 年度 三芳町の

予算

町では、厳しい財政状況の中、限られた財源を活かしサービスを行っています。税金がどのように活かされているのか、平成 27 年度予算案の概要をご報告します。☎財務課 415

厳しい財政状況

町の財政状況は以前にも増して、大変厳しい状態となっております。

こうしたなか平成 27 年度三芳町一般会計予算案を作成し議会に上程しました。予算が決定することは、町が行っていく事業を決定したことになります。予算編成の過程を経た、今年度の予算案を公開します。

一般会計の概要

町の自主財源である町税の増は見込まれず、今後も「福祉・医療・介護」などの社会保障経費の自然増の傾向は続いていきます。また、建設事業の実施で町債が増加したことにより、今後の返済経費（公債費）の増も見込まれます。さらに家庭での預金にあたる基金残高は底をついた状態です。

限られた財源であっても、行政サービスを低下させないために、既存事業の見直しや、新規事業を厳しく精査し、予算を編成しました。

予算総額は 122 億 5,082 万 5 千円、前年度と比較して 18.2% 減額となっております。

歳入の主なもの、町税が全体の 57.8% を占め、国庫支出金 9.6%、町債 8.7%、繰入金 6%、地方消費税交付金 6%、県支出金 5.5% などです。

歳出の主なもの、民生費が全体の 33.8% を占め、つづいて総務費 14.3%、教育費 13.8%、土木費 11.4%、公債費 10.5%、衛生費 8.9% となっております。

主な事業は、小学校空調設備設置事業、スマート IC 関連測量・設計等事業、防災行政無線（固定系）デジタル移行整備事業、旅券発行事業などを予定しています。

特別会計の概要

特別会計は、予算を使用する用途が限定されています。一般の歳入歳出予算と区別して行われている会計です。町には国民健康保険、後期高齢者医療、介護保険および下水道事業の 4 つ

特別会計予算

特別会計項目	当初予算等金額	前年比	問い合わせ	
国民健康保険特別会計	5,074,923 千円	11.29%	住民課保険年金 154	
後期高齢者医療特別会計	363,798 千円	2.71%	住民課保険年金 157	
介護保険特別会計	1,928,257 千円	1.16%	健康増進課介護保険 184	
水道事業会計	収益的収入	839,717 千円	1.65%	上下水道課水道業務 上下水道課下水道業務 ☎ 248 ☎ 049-274-1014
	収益的支出	836,810 千円	1.88%	
	資本的収入	432,104 千円	39.89%	
	資本的支出	580,263 千円	△ 14.47%	
下水道事業特別会計	809,020 千円	△ 6.45%		

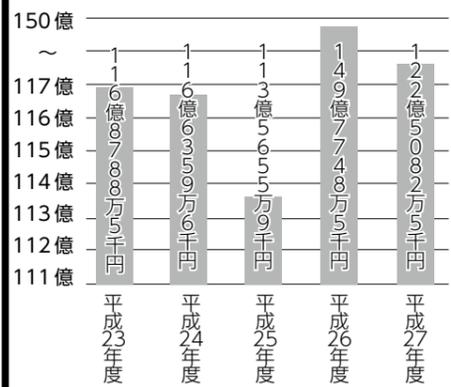
の特別会計と水道の企業会計があります。

特別会計の中でも国民健康保険は厳しい財政状況等のため、特定健診の第 2 期計画がスタートしたこと、多くの皆さんに特定健診を受診していただき、自身の健康管理、疾病の早期発見、重症化を予防することで、国民健康保険財政運営の健全化につなげていきます。

介護保険特別会計は、高齢者の増加により介護サービスの利用増が見込まれることにより前年度よりも増となりました。

企業会計の水道事業は、経費削減、健全経営し、安定給水に努力していきます。

一般会計
当初予算の推移



過去 5 年間の推移